

2015年度「研究部会活動記録」

部会主任名	有村 俊秀	現代政治経済研究所
研究課題：再生可能エネルギー 研究部会 地域コミュニティのWellbeingに配慮した再生可能エネルギー促進策の経済分析：下関市安岡沖洋上風力発電開発の事例		
月/日	活 動 記 録	
7/25～7/27	山口県下関市安岡沖洋上風力発電について現地調査を行った。 下関市役所・前田建設にてヒアリングを行った。	
来年度の活動計画	すでに風力発電が建設され、それによる騒音や低周波が観測される地域、または景観が大きく破壊された地域を選択し、それらの地域に於いて低周波や景観破壊が地域コミュニティに与える影響の分析が可能かどうか検討する。 下関市安岡地域からすぐ近くに存在する北九州市の風力発電施設の視察を行う。 人々が住居選択などを行う際に、その土地の環境要因（騒音、景観を含む）も考慮して意志決定を行ため、風力発電建設による環境要因の変化が人々の環境への支払い意志額として地価に反映されている可能性がある。そこで、適切な対象地を選定した後にヘドニック法を用いた分析を行う。 昨年度のヒアリング調査の結果から、人々は低周波に対する問題を懸念している可能性があることが分かったため、騒音とは別に低周波データによる分析も検討する。そのためには自ら低周波測定器によって測定するか、または他の機関が測定したデータを収取するについても検討する。 適切な対象地でアンケート調査が可能であれば、現地調査によって主観的幸福度、Wellbeingについて直接聞き取ることを検討する。	
終了の場合	研究成果刊行の時期： 2017年 3月（予定） 研究成果の公開方法： ディスカッションペーパー	